

祝 野辺地町新庁舎 竣工



■設計・監理

株式会社 **山下設計**

代表取締役社長 藤田 秀夫
執行役員東北支社長 阿部 泰朝
東北支社 / 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-9-13
TEL.022(225)4201 <https://www.yamashitasekai.co.jp>

ごあいさつ

野辺地町長 野村 秀雄



令和4年に着工しました新庁舎建設につきましては、本年7月に庁舎棟と車庫棟が完成し、8月5日から既に新しい庁舎での業務を始めております。このたび、段階的に工事を進めてまいりました駐車場も完成し、関連する全ての工事が無事に完了を迎えることとなりました。より充実した行政サービスを提供することができる環境が整いましたことに深い感慨を抱いております。町民の皆さまおよび関係各位のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

新庁舎は、コンパクトながらも町民ラウンジ、授乳室、キッズコーナーといった多様な世代の方々にとって利用しやすい設備の充実を図っております。また、これまで他の施設に分散されていた介護・福祉課、健康づくり課、教育委員会事務局を新庁舎へ集約したことで、行政手続の効率化と町民の皆さまにとっての利便性を飛躍的に向上させることができたものと考えております。

この庁舎が単なる行政の建物にとどまらず、町民の皆さまが積極的に集い、多くの方に親しまれる存在となりますことを期待いたしますとともに、新庁舎完成を一つの節目としまして、職員ともども行政サービスの向上に一層の努力を尽くしていくことを決意し、野辺地町のさらなる発展に寄与してまいります。

歴史を尊重し、野辺地町の記憶をつなぐ庁舎

町民利用の多い窓口を1階に集約し、わかりやすく利便性の高い窓口構成としたほか、1階には休日開放も可能な町民ホールを設置。各階の中央に町民ラウンジを設け、町民が気軽に立ち寄れる場所となっている。

建物は、断面の凹凸が少ないS造3階建(庁舎棟=3階建、車庫・倉庫棟=2階建)で、効率的に必要なスペースを配置。中央に階段、エレベーターを設けることで廊下等を短縮し、建物のコンパクト化を図った。

敷地中央に野辺地城址から愛宕神社をつなぐ軸線を意識した『歴史こみち』を設けた。それに沿った建物構成により、かつての奥州街道をイメージした『軒』を連ねるような施設配置となっている。また、3つのポリウム(まとまり)が並んだような外観とすることで、行在所(あんざいしょ)や土蔵との連続性を生むとともに、近隣住宅等に対するの圧迫感を抑えており、行在所、庭園と庁舎が一体となって魅力的な場所となるよう演出している。

建物概要

■工事名:野辺地町庁舎等新築工事 ■発注者:野辺地町 ■施工地:青森県上北郡野辺地町字野辺地123番地1 ■構造階層:S造3階建て ■建築面積:1,450.09㎡ ■延床面積:3,551.94㎡ ■工期:2022年8月8日~24年12月20日 ■設計・監理:(株)山下設計 ■施工:大豊建設(株)東北支店



2階 来庁者カウンター



西側玄関



1階 来庁者カウンター



3階 町民ラウンジ



屋上



3階 議場

■施工

DAIHO CORPORATION
大豊建設株式会社

東北支店

執行役員支店長 浅沼 和幸

仙台市青葉区一番町2丁目1番2号

TEL.022(224)1581 FAX.022(261)5244 <https://www.daiho.co.jp/>